

カルテの余白

五省会のドクターを紹介します

健康づくりは、掃除とドライブから



西能病院副院長

増田 明 (55歳)

得意分野	顔面・眼瞼痙攣の治療 帝王切開の麻酔
趣味	学生時代は陸上部 現西能野球部部長
苦手な食べ物	骨の多い魚 漬け茄子
尊敬する人	自分の限界がわかる人 (福田康夫)

群馬県伊勢崎市に生まれ、昭和54年10月に富山医科薬科大学（現富山大学）に就職しました。麻酔科医となつて30年、この間麻酔薬や医療機器の進歩にはめざましいものがあります。昔の薬から最新の薬まで全ての薬を使い、アナログからデジタルへの変化を体験した世代です。

趣味は？と聞かれても、これですというほどの趣味はありません。野球は好きでしたが、コントロールが悪く、負け投手でした（写真）。ゴルフも「スウィングはいい」とほめられるのですが、スコアに結びつかず、五省会のコンペしか参加しません。いつか理事長の囲碁の相手にと思いつつ、それも手つかずの状態です。

最近では、休日の朝の掃除が趣味となっています。2時間ほどかけてダスキンモップで家中をくまなく拭き取ると、全体でこぶし大のほこりやゴミが取れます。風呂、台所、トイレの順で掃除を進めます。家では「ダスキン君」と呼ばれ重宝がられています。が、がんばりすぎると月曜の朝は右肩や肘に痛みが出てきます。

車はプリウスを8年、16万^円乗っています。故障もなく、燃費がよいので、我ながら先見の明があったと思っています。燃費がよいので走りすぎて、決してエコにはなっていない。数年先には電池自動車普及すると思うので、それまでは乗り続けたいと思います。



1982年